

ORACLE MASTER DATA MANAGEMENT (MDM)

アプリケーション基盤のソリューション

主な特長

- 迅速なROIの実現
- Fusion Applicationsへのアップグレードに向けた基盤構築
- SOAへの戦略的エントリー・ポイント
- ガバナンス、リスク、コンプライアンスのサポート

「2010年までに、Fortune 1000企業の70%がMDMプログラムを導入するでしょう。組織内で共有するビジネス情報の精度および整合性が保証されることから、コンプライアンス、ビジネス効率および競争力の向上が見込めます。」

Gartner、2006年1月

すべてのアプリケーションにおいて迅速かつ一貫して正確なデータを取得することは、多くの企業にとって主要な課題であり続けています。

Forrester、2006年1月

概要

一般に「データの寿命はアプリケーションよりも長い」と言われています。これは、企業においてアプリケーション環境が変化しても、ビジネス・データは存続することを意味します。技術の進歩に伴い、アプリケーションは定期的リエン지니어リングされますが、製品やサプライヤー、資産、そして顧客は変わりません。オラクルのMaster Data Management (MDM) ソリューションは、これらの主要なビジネス・データ・オブジェクトの統合、クレンジング、強化および同期化を企業全体にわたり長期間サポートするための一連のアプリケーション (MDM Data Hubs) です。これには、マスター・ビジネス・データの品質とライフサイクルを一元的に管理するための強力なアプリケーションに加えて、事前定義済みの拡張可能なデータ・モデルとアクセス方法が含まれます。

ソリューションの特長

AccelerateアプリケーションのROI

アプリケーションの統合は、MDMの主要機能です。新規アプリケーションをデプロイする際に必要なのは、MDMハブと統合することだけです。これにより、既存のアプリケーション環境全体ですべてのデータが共有されます。この結果、迅速に統合をおこない、期待されるアプリケーションの投資対効果 (ROI) の実現にかかる時間を短縮することができます。

Fusion Applicationsに対する基盤

Oracle MDM Data Hubsの実装は、Fusion Applications導入への推奨ステップです。Oracle Applicationsの購入を計画中で、将来的にFusion Applicationsの導入を視野に入れているお客様からは、Fusion Applicationsへの移行サポートのご要望をいただいています。Fusion Applicationsの導入に向けた重要なステップの1つを、Oracle Applicationsの実装の一環という形で実行することにより、FusionへのアップグレードにおいてもROIを確実に維持できます。

SOAへの戦略的エントリー・ポイント

サービス指向アーキテクチャ (SOA) は、ビジネス・プロセスの柔軟性を既存のITインフラストラクチャに組み込むための高度テクノロジーです。Forrester¹は、MDMがビジネスに最大の戦略的価値をもたらす、最も効果的な「SOAへの戦略的エントリー・ポイント」であると評しています。しかし、基盤アプリケーションにデータ品質の問題が存在する場合、期待される効率化は実現しません。実際、Gartner²はこの問題に関して、データ品質が保証されないかぎり「企業においてSOAは情報の混沌状態をもたらすパンドラの箱に他ならない」と指摘しています。Oracle MDMは、SOAの導入における潜在的な価値を確実に実現します。

¹ June 2006, Best Practices "Eleven Entry Points To SOA For Packaged Applications"

² The Essential Building Blocks for EIM, Gartner 2005

「強化されたMDMの恩恵はあらゆるレポートにおよびますが、とりわけ法規制や財務に関するレポートに大きな効果をもたらします。現在、この種のレポートは非常に綿密に審査されており、万が一不備が見つかった場合には重大な結果を招く可能性があるからです。たとえば、MDMの定義が一貫して適用されることにより、レポートには正しいデータが移入されますし、監査の際にはMDMのデータ系統を使用して質問に対応できます」

TDWI, 2006年10月

「Fortune 1000の企業がデータウェアハウスやCRMソリューションを導入しない場合、低品質のデータに起因する業務上の非効率性にかかる損失が導入費用を上回ることでしょう」

Gartner

ガバナンス、リスク、コンプライアンス（GRC）のサポート

GRCは、規制強化がすすむ現在のビジネス環境での主要トピックです。アプリケーションの分断により、企業における適切なガバナンス・プロセスの維持、リスクの緩和、正確かつ適時性のあるコンプライアンス・レポートの作成などが困難になる恐れがあります。Oracle MDM Data Hubsは、複数のアプリケーションをまたがるコア・ビジネス・データの不整合を排除し、一元的に管理されるマスター・データ・ストアに対して強力なプロセス制御機能を提供することにより、GRCをサポートします。

実証済の各種機能

Oracle MDMは顧客、サプライヤー、製品、市民、患者、従業員、勘定科目一覧などのマスター管理に使用されており、導入実績は世界中で500社以上にのびます。その拡張性は実証済であり、約7億ものレコードを管理している例もあります。Oracle MDMの顧客ベースでは、現在数十億のレコードが管理されており、多くのお客様が本番環境で4年以上使用し続けています。実際、ARC Advisory Groupは、Oracle MDMを市場リーダーに位置付けています³。

リアルに測定可能なビジネス・メリット⁴

MDMは、コスト削減から収益の拡大に至るまで、さまざまなビジネス活動においてROIを実現します。

- 収益を13%向上
- 統合コストを37%削減
- 運用コストを10%削減
- レポート作成にかかる時間を80%短縮

Oracle Applicationsとの連携により、MDMの迅速な導入、将来のFusion Applicationsへのアップグレードに向けた基盤構築、SOAの柔軟性の向上、GRCのサポートなどが可能になります。Oracle MDM Data Hubsは、データ品質の向上、統合コストの削減、そして適切なガバナンスのための確実なソリューションであり、あらゆるOracle Applicationsにスムーズに組み込むことができます。

Copyright 2007, Oracle. All Rights Reserved.

このドキュメントは情報提供のみを目的としており、ここに記載された内容は予告なしに変更される場合があります。このドキュメントに誤りが無いことの保証はいたしかねます。また、口頭で表明されているか、法律で暗黙的に表明されているかにかかわらず、商品性または特定の目的に対する適合性に関する暗黙の保証や条件を含む一切の保証または条件に制約されません。オラクル社は、このドキュメントに関する一切の責任を負いかねます。また、このドキュメントにより直接的または間接的に契約上の義務が生じることはありません。このドキュメントを、書面による事前の許可なしに、形式、手段（電子的または機械的）、目的に関係なく、複製または転用することはできません。

Oracle, JD Edwards, PeopleSoft, Siebellは、Oracle Corporationおよびその関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

³ Master Data Management Worldwide Outlook Market Analysis and Forecast through 2011, Steve Banker, 2006

⁴ パーセンテージは9,000以上のメトリックの分析に基づいて算出されたものです。これらのメトリックは、顧客エンゲージメント、ケース・スタディ、アナリスト・レポート、業界刊行物などを通じて識別されています。